

敦賀市議会

議会だより

6月
定例会

CONTENTS

- 正副議長改選、決議・・・・・・・・・・ 2
- 議会報告会アンケート結果・・・・・・・・ 3
- 常任委員会審査報告・・・・・・・・・・ 4～6
- 特別委員会中間報告・・・・・・・・・・ 7～8
- 一般質問・・・・・・・・・・ 9～14
- 審議結果一覧・・・・・・・・・・ 15
- 議会日誌、9月定例会の日程など・・ 16



議長に原氏、

副議長に田中氏を選出

定例会初日の6月5日に、有馬議長、和泉副議長よりそれぞれ辞職願が提出され、本会議にていずれも可決されました。これに伴い、正副議長選挙を行った結果、第54代議長に原幸雄議員、第56代副議長に田中和義議員が選出されました。



議長
原 幸雄



副議長
田中和義

委員会構成の変更

今回の改選等に伴い、各委員会の構成に変更がありました。紙面の都合で掲載を割愛させていただきますが、委員会名列については敦賀市議会ホームページもしくは市役所5階議会事務局にてご確認いただけます。

決 議

6月定例会で、議員より決議案の提出があり、賛成多数で可決されました。件名及び内容は下記のとおりです。

◎敦賀市役所庁舎建設地に関する決議

敦賀市役所庁舎の建設候補地については、平成29年3月以来、様々な議論が重ねられてきた。敦賀市議会においても、本会議での代表・一般質問、市庁舎建設対策特別委員会において活発に議論されたが、「B：プラザ萬象敷地案」については、その利点について理事者からは納得できる説明はなかった。

また、市民へのアンケートでも「A：現所在地案」が59%、B案が28%と2倍以上の差をつけてA案に支持が集まった。

このような状況のもと、当初示された「市庁舎建替えの方針」に立ち返れば、最優先は熊本地震の知見を反映した庁舎を一日でも早く建設し、災害時に有効に機能する行政の中枢拠点を整備することである。したがって、現庁舎の耐震性を考えると、一刻も早く建設地を定め、市庁舎設計の具体化について、市民を交えた検討に入るべきである。

また、建設地を早期に決定することにより、理事者が「市庁舎建替えの方針」で示した「国の財政措置を得ること」の確実性が高まる。これは、市民説明会などで、国の財政措置獲得を支持する市民が多かったことから、大変望ましいことである。

以上のことを踏まえ、敦賀市議会は、議会での議論、市庁舎建設対策特別委員会での調査・研究の経緯、「敦賀市庁舎建設候補地アンケート調査結果」、議員と市民との対話等により、現所在地が市庁舎建設候補地に最もふさわしいと結論づけるものであり、下記の実行を強く求めるものである。

記

市長は議会の意思を真摯に受け止め、現所在地を敦賀市役所庁舎建設地として早急に決定し、建てかえに向けての手続きを速やかに進めること。

● 予算決算
常任委員会 ●

〔第37号議案〕
平成29年度敦賀市一般会計補正予算（第1号）

質疑

◎民生、児童委員活動助成費について
問 支援員活動費の算出根拠は。

答 支援員には、民生委員児童委員が行う訪問業務の半分を受け持っていたことを想定している。そこで、民生委員児童委員の年間活動実績から、委員に支給されている活動費のうち訪問業務が占める割合を計算し、これをもとに算出した。

自由討議

意見 第6次敦賀市行政改革大綱に、上下水道窓口業務等の包括的委託とあがっていたが、議員説明会はなかった。このような予算についてはしっかりと説明責任を果たしていただき、慎重に議論していくべきだと思う。

意見

市民の水を守るという点では、民間に業務を全部委託するべきではないと思うが、サービス部門については、委託することで業務の合理化を図ることができると思う。業務の線引きを行いつつながら民間に委託していかねばならないと思う。



6月21日に開催した総務民生分科会後、市庁舎建設対策特別委員会の調査、市庁舎建設に係る市民説明会やアンケート結果、今定例会中の一般質問を通じて、もはや、市庁舎建設地を判断する材料がそろったと考えられるとの結論に至った。よって委員より、庁舎建設候補地選定関係経費に係る歳入出468万8千円を削除する**組み替えを求める動議**が提出された。



予算の組み替え動議

予算の組み替え動議とは、議員が行政（市長）に対して、予算案を修正し、再提出することを求める動議。この動議に法的拘束力はないが、動議が可決された場合、行政は議会
の意思を重く受け止め、予算案の撤回または訂正の選択を行うこととなる。

討論

反対 原案及び組み替え動議に反対

北陸新幹線敦賀開業を見据えた駅周辺整備推進事業は、国主導の大型開発で景観まちづくり刷新事業費を活用するといえ多額の税金を民間に投入した市民不在の事業といえる。また、組み替え動議については、住民の声を聞くことは必要との考えから、早急に基本設計に取り掛かることは納得できない。

賛成 組み替え動議に賛成

市庁舎建設候補地選定関係経費については、市内10カ所で開催された市庁舎建設候補地に係る市民説明会で参加者アンケート結果として59%が現所在地が適当と総合評価している。また、一般質問での理事者答弁は現所在地以外のメリットの説明が希薄であり、再度同じ内容で市民へのアンケート調査を実施すると、国の財政措置のタイムリミットが懸念される。
アンケート調査結果や選定委員会結果報告は参考にするが最終的には市長が決定することであり、今後も調査を継続することに疑問を感じることから組み替えに賛成する。

採決

賛成多数

組み替えすべきものと決定

可決後、市長に対し、組み替え動議可決の報告と、この可決に対する市長の判断を求めた。

市長の回答は、「組み替え動議の可決結果は重く受け止めるものの、今回組み替え動議が可決された予算は、庁舎建設について市民3千人に意見を聞くアンケート調査費、アンケートや市民説明会での結果をもとに各種団体の代表者等で審議いただく委員会経費、議会や市民説明会で意見が出た交通量の調査費である。庁舎建設に向けての市民の皆様の意見を聞く大切な場を否定するの理由から組み替え動議に応じられない」とのことだった。



敦賀市役所庁舎

本会議

[議案の委員会付託] 議案を詳しく検討するため、議長が各委員会へ審査を付託

委員会審査

付託議案の説明→[質疑] →議員同士の自由討論→[討論] →賛成か反対かを表明→[採決]

本会議

[委員長報告] 審査を行った各委員会の委員長が、審査の経過と結果を報告 → [質疑] → [討論] → [採決]

組み替え動議を市長が拒否したこと から、このまま審議を続けると第37号 議案は否決となりかねず、必要な予算 が止まり行政サービスの低下、停滞を 招かないよう、委員より庁舎建設候補 地選定関係経費の468万8千円を削 除する修正案、第37号議案平成29年度 敦賀市一般会計補正予算第1号に対す る修正動議が提出された。



議案の修正動議

議案の修正動議とは、議員が、 市長や議員が提出した議案の内容 について、元の議案の目的の範囲 内において修正を提案すること。 例えば削除、追加、減額などの修 正提案がある。

討論

反対 原案及び修正案に反対

庁舎建設候補地選定関係経費以外の 予算についても反対するものがある。 新庁舎は、市民と共に国からの財政措 置に頼らず時間をかけて市民が選んだ 場所です当初予定していた2年間をか け、じっくり腰を据えて未来の市役所 をつくりたい。

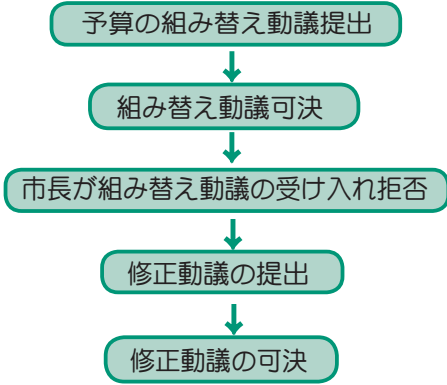
賛成 修正案に賛成

すでに今議会でも一般質問、特別委員 会で議論が尽くされ、候補地B案(萬象 敷地)の成立性は薄いと結論は得られ てきている。市民説明会でもA案(現所 在地)以外の有力な案は出てこなかった こと、また、いつ敦賀市にも大きな地震 が起きるかわからない緊急性と、国の財 政措置を受けることの市民理解は得られ ている。組み替え動議、議会の議論、特 別委員会の議論、市民説明会の議論等が あってもなお時間・予算・労力をかけて 議論を続ける必要はないという理由から 修正案に賛成する。

採決 賛成多数

修正案及び修正部分を除いた原案を 認めるべきものと決定

6月定例会予算決算常任委員会の流れ



総務民生 常任委員会

「請願第2号」 「日本政府に核兵器禁止条約の交渉 会議に参加し、条約実現に真剣に 努力するよう求める意見書」採択 についての請願

意見 核廃絶は最終目的ではあるが、 まず核不拡散や核軍縮などへの具体的 な取り組みを進めるべきである。

意見 交渉会議に参加することが、核 保有国と非保有国との対立につながる のではないかという懸念がある。

意見 そもそも核保有国は交渉会議に 参加していない。非保有国だけが声を 上げたところで、どれだけの実効性が あるかわからない。「核の傘」がなく なったとき、日本の平和が守られるの か疑問である。

意見 現状を考えると、核の抑止力と いうものも必要である。今、日本の平 和が保持されている状況の中で、この 内容の意見書を提出するべきではない。

採決 賛成なし

不採択すべきものと決定

請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは…… 市政について、市民のみならず が直接市議会に意見や要望できる 制度です。紹介議員を必要とする ものを請願、紹介のないものを陳 情といいます。 提出期限は、各定例会の告示日 (開会日の1週間前)の前日、午 後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において 協議し、左記の該当要件(*)に より請願に適合していると判断さ れた場合、請願と同じ取り扱いと なり、審査することになります (それ以外は写しを全議員に配 付)。

*該当要件 ・敦賀市又は本議会の権限に属す るもの。 ・公益的性格を有するもの。 ・その他議会運営委員会が必要と 認めたもの。

【書式例】

Form for petition submission including fields for date, recipient (City Council President), petitioner name, and subject.

産経建設 常任委員会

〔第42号議案〕

町の区域の変更の件

質疑

問 町の区域の変更があることで、各町内に何か影響はあるのか。

答 施設や住居等に関する部分は、変更区域に入っていないため各町内への影響はないと考えている。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第43号議案〕

敦賀市公共下水道松島ポンプ場の建設工事委託に関する基本協定の締結の件

質疑

問 今回工事を行うことで、ポンプの稼働に支障が出ることはないのか。

答 できる限りポンプの稼働に支障が出ないような施工方法をとりたいと思っている。

問 工事完成後、新しい機械はどれくらい使用できるのか。

答 既存の自動除じん機や搬出設備等については約30年使用しているため、工事後新しい機械についても同様の年数使用していきたいと考えている。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

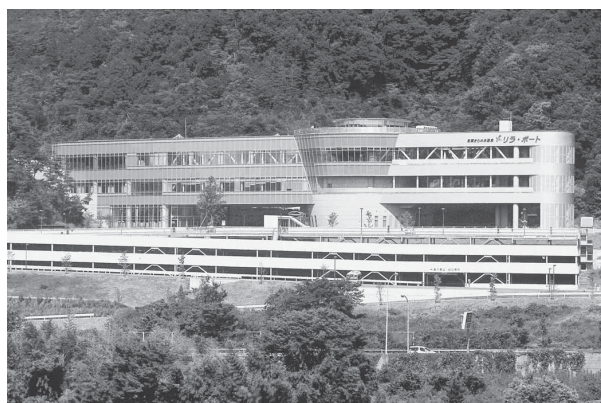
〔第44号・45号議案〕

指定管理者の指定の件

質疑

問 これまでの指定管理者にかわって新たに指定された株式会社浜名湖グラウンドゴルフパークについて、温泉施設であるリラ・ポートをどのように運営していくのか。

答 リラ・ポートの運営面については、加賀市にあるリゾートホテル、株式会社ホテルアローレとアドバイザー契約を結ぶことにより、レストランメニューのリニューアル、接遇研修によるおもてなし向上や誘客促進のアドバイスを受け、業務の見直しを行っていくと聞いている。



リラ・ポート

問 指定管理者変更後の雇用条件については、変更前と同条件か。

答 雇用部分については、同条件で先方をお願いしてある。

討論

賛成 今回の件については、雇用をはじめ施設の継続性の問題もあるため賛成である。リラ・ポートについては、経営が難しいこと等、様々な問題があるかと思われる。これからのあり方について、理事者として考えていかなければいけないと思う。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

文教厚生 常任委員会

7月7日に、所管事務調査として、「学校給食センター」について現地視察を実施した。

「給食センターの衛生面、安全面」、「アレルギー対応」、「働く方の環境」、「給食センター建てかえの見通し」、「米飯給食の対応」等について説明を受けた。

敦賀市議会ホームページにアクセス！

以下のような情報を公開しています

- ・過去（平成22年から）の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

原子力発電所 特別委員会

もんじゅの廃止措置について

質疑

問 福井県知事はもんじゅの廃止措置に移行することはやむを得ないとの表現をしている。敦賀市としてどのように進めるのか。

答 市として説明を求めてきた「使用済みナトリウムの敷地外搬出」、「失われつつある千人の雇用への対応」、「今後の廃止措置に向けた安全体制の構築」などの3点について、詳細な内容についてはまだない。しかし、現段階において具体化し得る限りのものが明示されたことから、基本方針のもと、廃止措置に向けた体制整備や計画の具体化を進めることについては理解をし、次に進まないといけないと考えている。

問 廃炉についてどこが納得できず、どこが納得できるのか。

答 しっかりとした地元への説明を尽くすことなく、唐突に政策変更がされたことについて納得できない。しかし、もんじゅ関連協議会において基本方針

等で具体的に述べられたことについては一定の理解ができるのではないかと考えている。

ふげんの使用済み燃料について

質疑

問 使用済み燃料の搬出の期限が今年度までだが、受け入れ先がない中で今年度の搬出も難しいと思う。これに対して市としてはどのように対応するのか。

答 具体的な説明はまだ受けていないが、ふげんの廃止措置が計画に沿って着実に進められるよう責任を持って早急に具体的な行程を示してほしいと考えている。

敦賀3、4号機について

質疑

問 全原協では、エネルギー基本計画の見直しにあわせ、新增設・リプレースを基本計画に盛り込むように要望をするとのことだったが、敦賀3、4号機に関して市としての対応は。

答 市としては、3、4号機に絞っての要望は現時点においては考えておらず、エネルギー基本計画の中で、新增

設やリプレースが明確に出されるかどうかについては、慎重に対応していかなければならぬと考えている。

新幹線対策 特別委員会

北陸新幹線における駅舎及び駅周辺部の現地調査について

敦賀市は平成29年4月22日に北陸新幹線長野・金沢間の各駅について、新幹線駅舎や駅周辺整備等の状況調査のため現地調査を行ったと特別委員会では報告を受けた。

【調査駅】

金沢駅、新高岡駅、富山駅、黒部宇奈月温泉駅、糸魚川駅、上越妙高駅、飯山駅

【調査内容】

- ・各駅舎のデザインコンセプトと駅舎外観
- ・伝統工芸品等の活用状況
- ・観光案内所等の整備
- ・ホームの形状
- ・ホームの可動軸
- ・駅前広場整備（市街地側・裏側）
- ・駅周辺駐車場（平面・立体・大型バス等）
- ・駅前広場トイレの整備状況
- ・喫煙所
- ・駅前交番
- ・レンタサイクルステーション

質疑

問 今回の調査は大事な要素がたくさんあり、さらに知恵を出し合い総合的にやっていく必要があると思うが、全体的な概要は。

答 駅舎のデザイン（案）を今秋には決めていきたい。ほかの新幹線駅舎の調査を生かして、降りてもらえるような駅づくりをしたい。

敦賀駅は2面4線となり、北陸新幹線沿線では比較的広い駅になる。最大規模の乗換旅客流動にもなる。交番設置などについて、警察との協議も進める。大きな事業なので、ひとつひとつ整理していくことが大切と考えている。

問 オルパーク2階と跨線橋との接続はどうなるのか。

答 跨線橋との接続は、オルパーク2階から接続できる構造となっている。駅改札についてはJRの管理であるが、敦賀駅開業時の駅改札については、今のところ変わらないと考えている。しかし、北陸新幹線の大浜駅開業時については、未確定である。

敦賀駅におけるバス駐車場需要調査の結果概要について

敦賀市は平成29年2月14日から21日までの期間、福井県内のバス事業者と県外バス事業者のうち高速バスで敦賀を停車場にしている計50社に対し調査票を配布し、アンケート調査を行った。また、2月24日に自由対話方式で意見交換会を開催した。これらのことについて特別委員会で報告を受けた。

質疑

問 大型バス駐車場は面積的に何台のバスが駐車可能か、また市民交通ゾーンの混雑解消と一体となって検討しているのか。

答 面積については、平成27年度策定の整備の方向性において、Bゾーンでは約1800平方メートルとしている。整備台数については、今回の需要調査やバス駐車場と市民交通ゾーンとの役割分担も整理した上で進めていきたい。

問 次のプランニングはどうするか、計画ではいつ頃になるのか。

答 調査設計を29、30年度と進めて、31年度で整備したいと考えている。

市庁舎建設対策特別委員会

今後のスケジュール及びアンケートを実施した場合の資料について

質疑

問 市民説明会でのアンケートと今回のアンケートに重みの違いはあるか

答 両方とも参考指標の一つと考えており、どちらが重いという位置づけではない。

問 交通量調査も行う予定とのことだが、調査日数は。

答 現在、平日1日で考えているが、予算の範囲でなるべく多くの日で調査できるように考えたい。

問 市民の提案であるC案の取扱いはどうなるのか。

答 現在担当部署で調査中である。国の財政措置が受けられる場所である場合は、選考委員会や特別委員会で示したい。



行政視察報告

文教厚生常任委員会 (7月4日～6日)

文教厚生常任委員会では、岐阜県可児市、埼玉県富士見市、東京都杉並区を視察してきました。

岐阜県可児市では「子どものいじめの防止に関する条例」について視察しました。いじめ対策は敦賀市では教育委員会の所管ですが、可児市では市長部局である「こども健康部」の所管です。これは市長が自らの責任において「いじめ対策」を推進するという意志の表れだということでした。啓発パンフレットも小学生向け、中学生向けに加え、一般向けもあり、市民全体でいじめをなくそうと取り組んでいました。

埼玉県富士見市では、「富士見市手話言語条例」と「教育相談」についての調査でした。手話言語条例制定の目的は、「手話への理解を深め、広く普及すること」、「手話を使う市民が安心して暮らすことができる環境を整えること」であり、手話通訳者派遣事業や手話体験講座の充実を図っていました。

東京都杉並区では「小中一貫校（施設一体型）」

について、新設された杉並区立杉並和泉学園を見学しました。小中一貫校設立のきっかけは、やはり児童数の減少による学校の統廃合だったとのことでした。設立までは住民理解を大前提として進めてきたとの説明があり、学校施設も小中の共有部分を設けるなど開放的で工夫されたものでした。

どの項目もこれからの敦賀市にとって大事なことばかりであり有意義な視察となりました。



一般質問 項目一覧

◎林 正男 議員

- 1 市庁舎建設について
 - (1) これまでの経緯と今後の市長判断
 - (2) 庁舎建設に伴う公共施設の統廃合

◎福 谷 正 人 議員

- 1 もんじゅと経済対策について
- 2 景観まちづくり刷新事業と今後のまちづくりについて

◎別 所 治 議員

- 1 コミュニティバスの運行について
- 2 敦賀の原子力政策について
- 3 A E Dのコンビニ設置について

◎前 川 和 治 議員

- 1 完全米飯給食の実施について
- 2 学校給食における地産地消の向上について
- 3 子育て支援について
- 4 市役所の利便性向上について

◎山 崎 法 子 議員

- 1 放課後児童クラブについて
- 2 ブックスタート事業について

◎今大地 晴美 議員

- 1 教育相談支援について
- 2 市庁舎建てかえについて
- 3 国道8号2車線化について
- 4 北陸新幹線について

◎豊 田 耕 一 議員

- 1 人口規模維持の取り組みについて
 - (1) 教育のまち敦賀、福祉のまち敦賀
 - (2) 高齢化が進む地域の対策

◎中 野 史 生 議員

- 1 人口減少対策における敦賀市の取り組みについて
- 2 隣接する市町とのこれからの連携について

◎浅 野 好 一 議員

- 1 住民にやさしいまち敦賀について
 - (1) 障害者・高齢者に優しいまち敦賀
 - (2) 若者に優しいまち敦賀
- 2 伝統農産物の育成・保全管理について
 - (1) 伝統野菜の保全管理
 - (2) 地理的表示(GI)保護制度
- 3 農福連携事業について

◎北 條 正 議員

- 1 原子力政策と地域振興について
 - (1) エネルギー拠点化と地域振興
 - (2) ハーモニアスポリス構想
 - (3) 原子力との複軸化
- 2 市庁舎問題について
 - (1) 市民説明会とアンケートの受けとめ
 - (2) 候補地選定
- 3 駅西整備について
 - (1) Aゾーン整備
 - (2) 立体駐車場の整備

◎北 川 博 規 議員

- 1 角鹿中学校区小中一貫校設立に向けての今後の取り組みについて
 - (1) 地域への説明
 - (2) これからの準備体制
 - (3) 学習の接続保障
 - (4) 通学区域審議会
- 2 市庁舎建てかえに係る文化施設・文化振興面からの考察

◎立 石 武 志 議員

- 1 敦賀の景観刷新事業について
- 2 原子力政策ともんじゅ廃炉問題について

◎米 澤 光 治 議員

- 1 市庁舎整備について
 - (1) 「B：プラザ萬象敷地」案のメリット
 - (2) 今後のスケジュール

◎大 塚 佳 弘 議員

- 1 景観まちづくり刷新モデル地区の指定について
 - (1) 刷新支援事業の内容と今後の進め方
 - (2) 景観まちづくりとストリートファニチャー(街路上の家具)の整備
 - (3) 駐車場の整備(駅前、金ヶ崎)内容と回遊性向上
- 2 障害者差別解消法と障害者就労について
 - (1) 施行後の敦賀市の変化
 - (2) 障害者就労と社会貢献
- 3 国土強靱化地域計画について
 - (1) 国土強靱化地域計画の認識
 - (2) 敦賀市の国土強靱化地域計画の対応

◎石 川 栄 一 議員

- 1 敦賀市の既存の観光素材活用について

◎堀 居 哲 郎 議員

- 1 海岸漂着ごみ処理問題について
- 2 気比神宮境内・周辺整備及び小中一貫校開校後の北小学校跡地について

◎山 本 貴美子 議員

- 1 子供の給食について
 - (1) 学校給食
 - (2) 保育所の給食
- 2 市庁舎と公共施設のあり方とまちづくりについて
- 3 バイオマス発電所について

◎和 泉 明 議員

- 1 もんじゅを取り巻く状況について

一般質問



林 正男
(同志会)

市庁舎建設について

問

私は去年、6月議会の一般質問で敦賀の大きな政治課題として庁舎建設場所、駅西地区Aゾーンの再開発、そして市営球場の再開を申し上げた。去年10月に議員説明会で庁舎建設に向け進むと聞いた。本年2月にも議員説明会があり、本年9月をタイムリミットとして場所を設定すれば国の財政措置11億2千万円が交付されることを聞き、現所在地でなら9月には間に合うとの事も申し上げた。しかし、3月議会当日の新聞で萬象敷地を候補地に追加との報道が突然あった。また、市長はさぶとん会で萬象跡地を支持する発言をされたが、その真意をお聞きする。

答

将来の発展を考えてB案(萬象敷地)がいいと発言しており、家が近く便利であるのでA案(現所在地)がよいと同時に発言している。個人個人が便利なほうを選ぶのではなく、将来敦賀市が発展するためにどこがよいのか、何が一番正しいのかという議論をして前に進めていけたら、よい敦賀市ができてくるかと考えている。

一般質問



福谷正人
(市政会)

もんじゅと経済対策について

問

6月7日にもんじゅ関連協議会が開かれ西川知事が廃炉を容認したが、協議会に同席した市長はもんじゅの廃炉を容認したのか。

答

政府の基本方針のもと、廃止措置に向けた体制の整備や計画の具現化を進めることについては理解した。廃止措置を進めれば安全性が高まるものではなく、今後も段階ごとに地元と十分協議をすることを求めている。廃炉を進めると、最終的に市と安全協定を結ぶことになるが、協定を結ぶかどうかという点、まだその段階ではないと考える。

問

地域振興、経済対策として短期、中期、長期、しっかり切り分けて考えていかなければならない。市の現状を見るに今すぐ直接の雇用なり経済対策について求めるべきではないか。

答

まずは短期的な部分で足元の経済対策、雇用の確保が大事だと思う。具体的に、短期的な足元の経済対策を、国と具体的に詰めていきたい。

一般質問



別所 治
(市民クラブ)

コミュニティバスの運行について

問

現在運行しているコミュニティバスは、お年寄り等にとって、乗降時大変と聞く。また、運転免許返納事業があるが、返納後の唯一の交通手段が公共交通と考える。ご所見を伺う。

答

車両については、更新を迎えた切りかえていく。高齢者等の手押し車対応については、安全運転を最優先としながら可能な限り運転士が対応するよう事業者に要請する。免許返納後は公共交通の充実が必要不可欠と考える。今後も高齢者の利便性の向上に取り組んでいく。

敦賀の原子力政策について

問

敦賀市にとって、今まで共存共栄してきた原子力政策について、今後の方針を伺う。

答

敦賀2号機は、規制基準適合性審査に係る申請がされ、敷地内破砕帯を含めた審査が行われているが進捗が遅いと感じている。3、4号機は、炉もいずれば老朽化を迎え、新增設やリプレイスが必要だと考えている。最新の知見を反映した、より安全性の高い炉に切りかわることなどから、敦賀3、4号機の必要性が高いものと認識している。

一般質問



前川和治
(無所属)

学校給食における地産地消の向上について

問

学校給食においては、調理員さんをはじめ、栄養士さん、関係者の皆様が子どもたちのために何とか地産の食材を多く提供したいと日々ご努力されていることに感謝申し上げます。子どもたちも生産者の顔が見え、安心な食べ物を食すことができ、生産者も地元の子に食べてもらえる喜びを得られるとともに、収入も安定するというメリットがある地産地消を子どもたちのためにも生産者のためにも推進したいと思うので、地産地産食材利用モデル校の創設を提案する。地産地産食材利用モデル校は、学校の近所の畑から直接給食に野菜を持っていくという仕組みである。地域の方に野菜をつくってもらい、その野菜等を給食に使用することで、子どもたちは顔の見える野菜を食べることができ、地域の農家も元気になる仕組みづくりにもなるが、見解を伺う。

答

地場産食材利用モデル校の創設という大変温かみあるご提案だが、課題もあると思うので参考にさせていただきます。引き続き地場産食材の利用率向上に向けて努力していきます。

一般質問



山崎法子
(公明党)

放課後児童クラブについて

問 増加傾向にある児童クラブ受け入れについて対策を考えていく中、国は都市公園法改正により、公園内に保育園や児童クラブ、デイサービス等が建設可能になった。市の方針は。

答 都市公園法の改正は認識しており、児童クラブの施設の整備は必要であり、検討を進めているところである。都市公園の中に児童クラブを設置するということは選択肢が広がりありがたい。関係部局と連携しながら検討していきたい。

ブックスタート事業について

問 赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡し、赤ちゃんとのおスキンシップによる子育てを推進する目的でブックスタート事業が実施されているが、毎年度25%ほどの親子に絵本が届けられていない現状に対し、対策は。

答 まずは、県内の平均値85%を目標にしていきたい。ブックスタート事業の開催日程や場所についてのポスター掲示を、保育園や医療機関にふやす等、周知方法を工夫していきたい。

一般質問



今大地晴美
(無所属)

教育相談支援について

問 電話相談のフリーダイヤルの留守電のメッセージが電話会社の既存の無機質な対応になっていることが判明した。職員の音声に変えたというが、その中には福井県の24時間対応のフリーダイヤルの番号は入れているのか。

答 県の24時間フリーダイヤルとの連携については、まだ福井県と調整中で、連携先との確認をとっている最中である。それについての音声案内はしていない。

問

職員の声に留守番電話の内容を変えたときに、福井県のフリーダイヤルだったら24時間いつでも対応してくれるからこちらへかけてねという言葉と、福井県のフリーダイヤル番号がなぜ入れられなかったのか。

答

留守番電話にはかの電話を案内するということは、させていたたく。福井県との電話の連携については、敦賀市の予算をつけることはもちろん必要だが、つながり先である県との調整が必要なので、そちらのほうをしっかりと調整ができた上でやっていきたいと考えている。

一般質問



豊田耕一
(同志会)

人口規模維持の取り組みについて

問 障害のある方の大切な移動手段であるコミュニティバスについて、今後行われるバスの再編によって、障害のある方々の料金等に影響が出るのか伺う。

答 障害者手帳を提示いただいた障害者の無料運行については、今後継続して実施をしたい。

問

高齢化が進む地域を盛り上げるために、愛発地区の住民からJR「新正田駅」を「愛発駅」へ改名するよう市長に嘆願書が出ている。これを受けて、本市としてどのように取り組んでいくのか伺う。

答

今回提出された嘆願書について、愛発地区全体の思いとしてしっかりと受け止めたい。駅名の改名についても、愛発地区活性化の一つの契機になり得ると考えており、地区の愛着心を深めるとともに、本市の宝である貴重な歴史を広くアピールできる絶好の機会でもあるというふうにとらえている。

一般質問



中野史生
(市政会)

人口減少対策における敦賀市の取り組みについて

問 年少人口の維持のために東京の奥多摩町は、保育園の保育料を全額助成、多子家庭やひとり親家庭の学童保育の育成料の助成、中学生の制服等購入費の全額助成など手厚い福祉政策を実施している。敦賀市も、このような子育て支援の充実が必要ではないか。

答

議員からご紹介があった奥多摩町の取り組みには及ばないが、本市も子供の医療費助成事業などを実施している。他市町の優れた取り組みの効果を踏まえ、有効な支援策を検討したい。

隣接する市町とのこれからの連携について

問 平成29年2月に美浜町と締結したごみ焼却炉の共同使用や最終処分場についての協定の概要を伺う。

答

協定では、美浜町のごみ受け入れと共同処理、新最終処分場の建設、供用開始後の共同処理を明記した。

一般質問



浅野好一
(市政会)

住民にやさしいまち敦賀について

問

「障害者差別解消法」でのバリアフリー化、住民の高齢化も進む中、市内の区自治会の公会堂・集落センターの洋式トイレや入口のスロープ、手すり等の改修状況は。また、改修工事の支援が下限額なしでできないのか。

答

各区での改修状況は市では把握していない。補助金の交付要件の検討については、他の市町の状況を見ながら今後早急に検討していきたい。

伝統農産物の育成・保安全管理について

問

東浦みかん・黒河マナ・杉箸アカカンバ・古田蒴かぶらの育成、保全対策状況は。また、地理的表示保護制度の申請をしようか。

答

黒河マナと杉箸アカカンバ、古田蒴かぶらは福井県農業試験場で種を採取し保存、東浦みかんは毎年新植を行っている。地理的表示保護制度登録には品質基準・管理が求められる。メリット、デメリットを研究したい。

一般質問



北條 正
(市民クラブ)

エネルギー拠点化と地域振興

問

知事の目指す試験研究炉をはじめとする人材育成と地域振興について、どのように考えているのか伺う。

答

試験研究炉も地域振興の一つとして捉えてはいるが、敦賀市としては、全体として、試験研究炉も含めて千人規模の雇用創出に資する具体的な地域振興策について国に対して提示していただくことを求めているところである。

ハーモニアスポリス構想

問

ハーモニアスポリス構想をもうじゆ廃炉と絡めて、具体的にどのように進行させるのか伺う。

答

構想の実現については、今後設置される協議の場において、構想実現に向けた具体的な施策だけでなく、その他の施策についても国から示され、また我々の意向をお伝えする中で、これから具体的に詰めていくことになると思う。

一般質問



北川博規
(市民クラブ)

角鹿中学校区小中一貫校設立に向けての今後の取り組みについて

問

小中一貫校設置準備委員会のメンバー構成、特に、これまで苦労してきた「4校合同小中一貫校設立準備会議」をはじめ、PTAの方とどのような連携をとっていくのか伺う。

答

現時点でのメンバー構成は、各地区の区長会、各学校のPTA及び近隣保育所の保護者の代表、各学校の校長・教頭先生、そして関係教職員、学識経験者等を予定している。これまで小中一貫校の設立に向けて尽力されてきた方々のご意見は必要なものであると認識しており、今後検討していきたい。

問

学習の接続保障の計画、特に赤字な接続のためには、職員を確保していくことが必要だと考えるが、それをどのように担保していくのか。

答

既に本市では、平成33年度の小中一貫校開設を見据え、子供たちが学習内容をきちんと習得した上で進級できるような体制を整えている。先生方の配置については、まずは県の教育委員会、担当部局に丁寧に働きかけていきたいと考えている。

一般質問



立石武志
(同志会)

敦賀の景観刷新事業について

問

景観刷新事業について、敦賀市も全国10地区の一つとして事業支援の指定を受けたが市民公募参加による桜の植栽で桜並木の復活及び気比神宮の日本三大鳥居繕整備に合わせ商店街アーケードの柱の色を朱色に染めてはいかがか。市長の見解を。

答

議員の提言についても、今後地元商店街や沿線の住民と道路空間の活用方法や内容の中で議論していく。植樹や、その維持管理なども含めて関係機関と十分協議をして進めていく。

原子力政策ともんじゆ廃炉問題について

問

使用済み燃料の中間貯蔵施設具体化や六ヶ所村の再処理工場稼働も見通せない状況の中、原子力発電所再稼働を求め、一方で使用済み燃料は県外へという他人任せはいかなるものか。また、もんじゆ廃炉容認の条件として使用済み燃料県外移出が言われている。ふげん同様約束のほごを危惧するが見解を。

答

使用済み燃料に関しては全原協としても喫緊の課題として問題意識が強く、本市としてもサイト外への早期搬出や中間貯蔵施設の整備などを国や事業者に求めた。もんじゆについても責任を持って対応していただけるものと認識をしている。

一般質問



米澤光治

(市政会)

市庁舎整備について

問 市庁舎建設候補地について、B案（ブラザ萬象敷地案）にのみ大規模ホール施設の整理がメリットとして挙げられているが、A案（現所在地案）でも可能ならば、説明資料は修正する必要があるのではないか。

答 A案でも大規模ホール施設の集約は必要なことであり、今後取り組むべき事業である。しかし、説明資料の修正ないし変更はしない。

問 B案（ブラザ萬象敷地）はA案（現所在地）に比べて財政的なメリットはあるのか。

答 A案では56億円、B案では58億円の支出見込みであり、B案では防災拠点を2拠点化する必要があることからさらに数億円の追加費用が必要となる。

一般質問



大塚佳弘

(公明党)

障害者就労と社会貢献

問 昨年4月から障害者差別解消法が施行され1年が経過した。この間に何が変わったのか。また、障害者就労の現状と今後の取り組みについて総社市の千人雇用の提案を含めてお聞きする。

答 窓口業務は要領を作りわかりやすい対応をしている。また、視聴覚障害者には筆談で対応し、手話通訳者も配置している。民間へは1社に対し出前講座を行った。18歳〜64歳の就労期者は1532名で、就労支援の利用者は198名である。一般就労は自立生活や経済的な基盤を確立するために重要と考えている。

国土強靱化地域計画の認識

問 国土強靱化地域計画の策定が全国で進められている。昨年は未実施が15県であったが、今年になり福井県を含めて残り4県になっている。今後の取り組みについて、危機監理監の所見をお聞きする。

答 過去より色々と内容については聞いているが取り組みの遅さを感じている。地域防災計画のみならず当市の取り組みは熊本地震の知見を受けてリスクの分散による備蓄分散と職員配置の見直しに取り組んでいる。

一般質問



石川栄一

(政志会)

敦賀市の既存の観光素材活用について

問 敦賀市の既存の観光素材である、銀河鉄道999と宇宙戦艦ヤマトのモニュメントを新たに広く周知し、どう活用していくのか伺う。

答 「零士ワールドin大洲」でシンボルロードの紹介や活用事例の報告、イベント参加者にパンフレットを配布し、参加した松本零士作品のファンや、ゆかりの団体参加者等に広くPRすることができた。

ウエブマガジン「Yahooーライフマガジン」の特集記事においてシンボルロードが取り上げられ、全国発売の週刊誌等でも特集され、注目度が高まった。平成28年11月から本町1・2丁目、駅前商店街の方々の銀河鉄道999の登場キャラクターの衣装貸し出しという企画は市民手づくりの事業で大変心強い。今後景観まちづくり刷新支援事業においてモニュメントを活用しながら来訪者を気比神宮へ導くような歩行空間の整備を目指しており、これを生かしたツアー造成など関係各課、部局横断、連携をとり、さらなる活用を検討していきたい。

一般質問



堀居哲郎

(同志会)

海岸漂着ごみ処理問題について

問 例年、海水浴や釣り客で市内外から多くの人が訪れる敦賀の宝の一つである東浦地区の海岸線だが、近年大量の漂着ごみに悩まされている。地域の人口減少や高齢化で地元社会奉仕活動だけでのごみ処理対応は現在非常に厳しい状況である。よって県の海岸漂着ごみ処理専用の予算である「海岸漂着物地域対策推進費」を本市として要請し、地元の要望どおり本市主導で今後の漂着ごみ処理対応に当たるべきと考えるが本市の見解は。

答 これまでの東浦地区の社会奉仕活動により、地元地区や関係団体のボランティア等による多大なご協力のもと、海岸漂着ごみの回収や海岸清掃等により本市の環境美化にご協力いただいております。ただただ頭が下がる思いである。今回、議員ご指摘の江良区及び横濱区をはじめ高齢化等の問題により海岸漂着ごみの処理が困難であれば、地元要望を踏まえ本市として県の海岸漂着物地域対策事業費を積極的に要請するとともにしっかりと対応していく。

一般質問



山本貴美子
(無所属)

子供の給食について

問 学校給食について、センター方式から自校式へ切りかえるべき。また、学校給食費の無償化、多子世帯への一部補助など保護者の負担軽減を行うべき。

答 自校給食校への移行は難しい。小中一貫校の給食については設置準備委員会において検討いただきたい。給食費の無償化、一部補助などは現時点で計画はない。

保育所の給食

問 保育所の3歳以上児の給食についても主食を提供し、子どもたちが保育所で炊きたてのご飯が食べられるようにすべき。

答 完全給食を実施する場合、主食費の実費徴収や調理員の増員、調理施設の改修工事が必要になるため早急には難しい。

バイオマス発電所について

問 7月に営業開始するバイオマス発電所について、敦賀の水を守るため、さらには産業育成のため、敦賀の森林保全の間伐材を燃料として使用できるように補助をすべき。

答 市内の間伐材やお隣の高島市の間伐材が持ってこれないかなど引き続き相談をさせていただきたい。

一般質問



和泉 明
(市政会)

もんじゅを取り巻く状況について

問 「もんじゅ」の使用済みMOX燃料の将来的な県外搬出は「国が責任を持つ」とのことだが不透明。プルサーマル発電でも今後増え続ける使用済みMOX燃料とあわせ、国が責任を持つて、国内に「第2再処理施設」を整備すべきと考えるが、市長の見解を問う。

答 核燃料サイクルを堅持するといふ部分では説明ができない状態だと感じている。これについてどのように解決していくかは、全原協としても国に強く求めていく。

問 諸事情により工事がストップしている「市道西浦1・2号線」だが敦賀半島制圧道路の完結のため、「もんじゅ」廃止措置に係る地域振興策の一つとして国に整備を求めるときと考えるが、見解を問う。

答 西浦地区の住民の不安は理解し、地区の皆様の要望も認識するところではあるが、当初のスキームで県、事業者との解決に全力で取り組む。

行政視察報告

議会運営委員会 (7月12日～14日)

議会運営委員会では、議会改革の取り組みについて北海道札幌市、帯広市、釧路市を視察してきました。



北海道札幌市では、「市議会大規模災害対応要領」について調査しました。これは災害発生時において議会として、議員としてどう対応するか、について規定したものです。市議会災害対策支援本部を設置することなどが定められており非常に興味深いものでした。

帯広市では、「議会への重要政策の説明と資料要求」、「常任委員会からの政策提言の実施」について視察しました。これらの項目についての説明を受けながら、帯広市議会の運営についても説明していただきましたが、帯広市議会の議会運営、委員会運営のやり方が敦賀市をはじめ他の市町と全く違うことに驚きました。どちらが良いということではなくて、よりよいやり方を柔軟に考えてみるのが大事だと感じました。

釧路市では、「市議会のフェイスブックの開設」、「議員連盟の結成」、「市議会と関係団体との意見交換会」について調査しました。「意見交換会などは当事者から直接意見を聴く良い機会となっているようでした。

今回は敦賀市議会では実施していない項目を選んで視察しました。取り入れた方がよさそうなこと、敦賀市議会には合いそうもないこともありましたが、知見を深めることができ意義深い視察となりました。

審議結果一覧

平成29年第2回定例会では、平成29年度各会計補正予算案5件、一般・人事議案5件、報告議案13件、議会提出議案1件、請願1件が審議されました。

各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成29年度敦賀市一般会計補正予算(第1号)	予算決算	修正可決
平成29年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部)特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
平成29年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
平成29年度敦賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
平成29年度敦賀市水道事業会計補正予算(第1号)	予算決算	可決

2 一般・人事

件名	付託委員会	結果
町の区域の変更の件	産経建設	可決
敦賀市公共下水道松島ポンプ場の建設工事委託に関する基本協定の締結の件	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	産経建設	可決
敦賀市固定資産評価員の選任につき同意を求める件	—	同意

3 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件(平成28年度敦賀市一般会計補正予算(第8号))	承認
専決処分事項の報告の件(平成28年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部)特別会計補正予算(第4号))	承認
専決処分事項の報告の件(平成28年度敦賀市介護保険特別会計補正予算(第4号))	承認
専決処分事項の報告の件(平成28年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第4号))	承認
専決処分事項の報告の件(平成28年度敦賀市水道事業会計補正予算(第3号))	承認
専決処分事項の報告の件(敦賀市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	承認
専決処分事項の報告の件(敦賀市立小中学校適正配置等審議会の設置に関する条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分事項の報告の件(福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約の変更)	承認
専決処分事項の報告の件(損害賠償の額の決定及び和解)	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件(平成28年度敦賀市一般会計)	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件(平成28年度敦賀都市計画土地区画整理事業特別会計)	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件(平成28年度敦賀市下水道事業特別会計)	報告のみ
繰越計算書の報告の件(平成28年度敦賀市水道事業会計)	報告のみ

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
敦賀市役所庁舎建設地に関する決議の件	—	可決

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
「日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書」採択についての請願	総務民生	不採択

議会日誌

平成 29 年 3 月 21 日以降の主な議会活動の紹介です。

- 3 月** 29 日(水) 議員説明会
- 4 月** 4 日(火) 広報広聴委員会
20 日(木) 広報広聴委員会
24 日(月) 市庁舎建設対策特別委員会
28 日(金) 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 5 月** 2 日(火) 市庁舎建設対策特別委員会
8 日(月) 文教厚生常任委員会
18 日(木) 議員説明会
19 日(金) 文教厚生常任委員会所管事務調査
22 日(月) 敦賀・長浜・高島三市議会協議会総会
23 日(火) 議会報告会
29 日(月) 議会運営委員会
30 日(火) 議員説明会、市庁舎建設対策特別委員会
- 6 月** 5 日(月) 全員協議会、本会議 (6 月定例会開会)
6 日(火) 予算決算常任委員会分科会全体会・分科会
13 日(火) 本会議 (一般質問)
14 日(水) 本会議 (一般質問)
15 日(木) 本会議 (一般質問)
16 日(金) 総務民生・産経建設常任委員会
19 日(月) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
20 日(火) 市庁舎建設対策特別委員会、原子力発電所特別委員会現地視察
21 日(水) 予算決算常任委員会全体会
26 日(月) 議会運営委員会、全員協議会、予算決算常任委員会、本会議 (6 月定例会閉会)
28 日(水) 議員説明会
- 7 月** 4 日(火) 総務民生・文教厚生常任委員会行政視察 (~ 6 日)
7 日(金) 文教厚生常任委員会所管事務調査
11 日(火) 市庁舎建設対策特別委員会
12 日(水) 議会運営委員会行政視察 (~ 14 日)
25 日(火) 嶺南市町議長会定例会
26 日(水) 広報広聴委員会
- 8 月** 2 日(水) 議員説明会、各派代表者会議
18 日(金) 広報広聴委員会
21 日(月) 議員研修会

故議員は平成 11 年に市議会議員に
当選以来 5 期を迎え、議長をはじめ、
総務常任委員会委員長、敦賀駅周辺
整備調査特別委員会委員長などの要
職を歴任し、議会の円滑な運営に努
めると共に地方自治の振興と市民福
祉の向上に大きく貢献されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します
とともに、心からご冥福をお祈り申
上げます。



常岡 大三郎議員 逝去
常岡大三郎議員
が去る 5 月 31 日
に逝去されました。

9 月定例会の日程 (予定)

9 September						2017	
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
					1	2	
3	4	5 本会議 (議案説明・質疑)	6 予算決算 常任委員会	7	8	9	
10	11	12	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16	
17	18	19 常任委員会	20 特別委員会	21 特別委員会	22 予算決算 常任委員会	23	
24	25	26	27 本会議 (報告・採決)	28	29	30	

発行所：敦賀市議会
住所：敦賀市中央町
2 丁目 1 番 1 号
電話：22-8157
Eメール：gkakat@ton21.ne.jp

編集委員

広報広聴委員会
委員長 米澤光一
副委員長 浅野好治
委員 長 今野佳弘
委員 大塚博規
委員 北川史生
委員 中野史郎
委員 堀居哲一郎
委員 石川栄一郎